

様式第 1 (第 6 条関係)

議会報告会等実施報告書
総務建設常任委員会

開催日時	令和 7 年 4 月 2 1 日 (月) 午前 1 0 時 0 0 分 ~ 午前 1 1 時 3 0 分	
開催場所	大口町役場 3 階 第 5 委員会室	
出席議員	委員長 藤田 敏英 (趣旨説明) 副委員長 宮川 基英 (司会・進行) 委員 山崎 卓美 委員 松本 佳子 委員 丹羽 勉 委員 鈴木 和江 委員 江口 昌史	
参加者数	中日保安設備株式会社 代表者 1 名 株式会社村金 代表者 1 名 株式会社舟橋建材 代表者 1 名 みずの接骨院 代表者 1 名 株式会社佐藤ガス 代表者 1 名	
実施内容	議会報告会	
	意見交換会	『企業防災の現状について』というテーマで、町内で事業を営む経営者の皆様に参加いただき、それぞれの企業で取組まれている防災対策や、災害発生時、地域への協力(支援)など、地元企業の防災の現状についての意見を伺った。
要望・提言等	別添 参照	
その他特記事項	災害発生時には企業が保有する機材(トラック・フォークリフト・LPガス発電機等)や備蓄品(簡易トイレ)の貸出・供与といった、「新しい支援の形」のお話をいただいた。今後は町執行部と連携を図り、地域に根ざす多くの企業に声かけし、特色を生かした、新しい共助(地域と企業の補完強化)のあり方としてつくりあげていきたい。	

令和 7 年 4 月 2 5 日

大口町議会議長

江口 昌史 様

議会広聴広報常任委員会委員長

松本 佳子 様

総務建設常任委員会 委員長 藤田 敏英

総務建設常任委員会 意見交換会

令和7年4月21日 10時00分～

大口町役場3階 第5委員会室

令和6年度、本委員会の活動方針は「地域と企業が一体となる防災についての調査・研究」である。

その調査の一環として、本年2月に災害救援ボランティアの皆様をお招きして個人・地域での自助・共助の現状について意見交換を行った。

そこで今回は、本町内で事業を営む企業経営者の方々に参加をお願いし、「企業防災の現状について」というテーマで意見交換を行った。

1. 意見交換会参加者

中日保安設備株式会社	代表者	1名
株式会社村金	代表者	1名
株式会社舟橋建材	代表者	1名
みずの接骨院	代表者	1名
株式会社佐藤ガス	代表者	1名
総務建設常任委員会委員		7名

2. 意見交換について

当日出された主な意見は次の通りである。

会社内で行っている防災対策について

- ・業界内で災害発生時の対応について、取り決めがあり、それに従って行動することが優先的に求められている。
- ・帰宅困難者発生に備え、三日間程度の従業員用の飲料水を備蓄している。
- ・休日でも安否確認が取れるよう、社員には緊急連絡先を提出してもらっている。
- ・従業員が外勤先で被災した場合は、現場近くの避難所に避難するよう指導している。
- ・事業所（医院）にはAEDを設置している他、心肺蘇生法や応急処置法に関する研修を従業員全員で行っている。
- ・被災後、経営を立て直すための資金を確保する必要性を感じている。
- ・大口町外にも店舗を構えているので、災害発生時にはそれぞれの店舗間で情報を共有できるように、連携体制を整えている。
- ・倒壊した家屋や屋根瓦を修繕するにはどうしても人手が必要となる。従業員の拡充も考えていきたい。

災害時、地域住民に対して取り得る協力（支援）の形

- ・工場敷地内には、ある程度余裕スペースがあるので、被災時には近隣の皆さんに避難場所として活用してもらうことも可能だと思う。
- ・院内に簡易トイレを多数用意して、被災時には自分達はもとより、近隣の方にも利用してもらえよう備えている。
- ・フォークリフトやトラックを貸し出すことは可能。
- ・3升・2升の炊飯器に加えて、鋳物コンロ数台・LPガス発電機があるので近隣の方の煮炊きのお手伝いはできると思う。

3. 総括・所感

異なる業種の経営者5名の皆さんに企業防災の現状について話を伺った。

各社、防災の必要性は認識しながらも、備蓄体制の充実度には差が感じられた。

一方、地元根付いた事業を展開されている企業という特色もあり、災害時にはそれぞれの地域と連携して対応したいという考えが見て取れ、大きな助けになると強く感じた。

今回の意見交換会で語られた、企業防災の現状は委員会で改めて精査し、町執行部と情報共有しながら、委員会の活動方針である「地域と企業が一体となる防災についての調査・研究」を更に進めていきたい。